

第4回JSI-RCAIワークショップ “アレルギー研究の最先端”を主催して

山梨大学医学部免疫学

中尾 篤人 *Atsuhito Nakao*

本年(平成20年)5月20日(火)に山梨県甲府市(湯村常磐ホテル)で、第4回のJSI-RCAI免疫ワークショップを開催しました。

テーマは、“アレルギー研究の最先端”として、この分野でPrincipal Investigatorとして活躍されている比較的若手の研究者の方々に演者をお願いしました(兵庫医大善本先生、東大中江先生、千葉大中島先生、佐賀大出原先生、京大椋島先生、順天堂大高井先生等)。

過去3回このワークショップは横浜の理研で行なわれていたのが今回が別の場所で行なう初めての試みになりました。前日には台風が関東地方を直撃し私の日頃のおこないが強く非難されていましたが、当日午後からはすっかり快晴になり山梨の陽光?(写真参照)を皆さんに楽しんでいただけたと思います。中央本線は雨に弱くすぐ止まるので、開催できるかどうか当日まで危ぶまれたにもかかわらず、参加者の方々には、はるばる関西方面からも来ていただき大変感謝しております。

通常の学会だと、論文で公表済みの内容の発表がほとんどで、ディスカッションする時間もほとんどないので、今回は、1)未発表データをできるだけ出してもらう、2)発表時間と同じあるいはそれ以上の質疑応答の時間をとる、という2点を重視しました。おかげさまで、どの演者の方もアップトゥデートな刺激的な話題を提供され、それに触発されフロアでは十分な広さ及び深さのある議論ができたと思っています。キーストーンシンポジウムのような雰囲気を目指したのですが、それに近かったかどうかは参加者の人の判定にゆだねたい

と思います。

理研を会場にしなかったため事務手続き等はすべて自分達でやることになったのでそれなりに大変ではありましたが、終わってみると、素直に(学問的な意味でも実務的な経験としても)やってよかったと思えます。若手研究者がいろいろな意味で自立していくことを手助けするこの制度がもっと活用されていくことを心から希望します。ほんとうに自分の肥やしになりますよ。

終わりに色々とお手伝いいただいた日本免疫学会本ワークショップ担当理事の黒崎先生 また事務局の浅井さんに深く感謝いたします。

